



NIIGATA光のページェント ご支援をお願いします！


冬の風物詩「NIIGATA光のページェント」は35周年を向かえます。今年は特に資金不足が顕著で、けやき通り全域の点灯は難しいかもしれません。その状況を新聞やテレビに取り上げていただき、少しずつ支援の輪が広がりつつあります。

企業1口1万円、個人1口3000円のご協賛に加え、クラウドファンディング(11月開始予定)でも、支援を募集いたします。伝統の灯りが消えないよう、みなさまのご協力をお願い致します。

※詳しくはNIIGATA光のページェントのホームページをご覧くださいか、事務局(TEL025-282-7108)までご連絡ください。



「Eco列車でいこう！」～第157回～ 出羽三山「生まれかわりの旅」

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を紹介するコーナーです！) 

『古より信仰をあつめてきた出羽三山。◎羽黒山・・・現世の幸せを祈る山(現在) ◎月山・・・死後の安楽と往生を祈る山(過去) ◎湯殿山・・・生まれかわりを祈る山(未来) この三山を巡めることは、死と再生を辿る「生まれかわりの旅」といわれてきました。』(出典:出羽三山公式サイト)

その「生まれかわりの旅」を、日帰りで行ってみたいと思う。

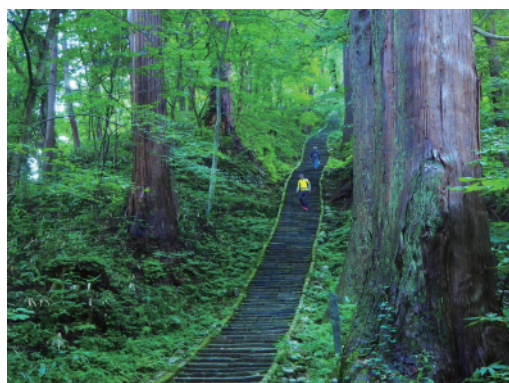
9月25日の早朝に新潟市中央区を出発し、羽黒山麓の「随神門」には7:30到着。門をくぐれば空気が一変、神聖な雰囲気となる。清らかな滝、重厚な五重塔、静寂の杉並木に癒されて2446段の石段を踏破した。山頂の神社を参拝し、「現在の山」をクリア。9:00のバスで麓に戻った。

次は月山だ。約1時間のクルマ移動で、姥沢(月山スキー場)からリフトに乗車。「リフト上」駅は、紅葉が始まる前で、緑と黄色のコントラストがきれいだ。標高を上げるごとに草木が色付きはじめる。岩が露出する急登に難儀するが、景色に癒されて頂上に到達。神社に参拝し「過去の山」をクリア。

同行者は山道を下り、湯殿山神社に直接向かう。クルマ係の自分は大急ぎで「下りリフト」に乗車。山道を走り湯殿山有料道路へ。15:50のゲート閉鎖時にはギリギリ間に合った。有料道路を登り切れば、湯殿山の大鳥居。ここから神社までは徒歩25分だが、バスも運行している。

神社前で同行者と合流。神域のため、カメラ撮影は厳禁だ。500円をお納めし、裸足になり、お祓いを受ける。湯が湧き出でる御神体にお参りし、足湯に入った。湯殿山山頂への登山道は無いので、これを持って「未来の山」に登ったことにし、「生まれかわりの旅」は完結した。

ただし、日帰りの三山制覇はあまりにもあわただしい。1泊2日をおすすめする。



延々と続くの石段(羽黒山)



月山頂上神社 雲海の先に鳥海山を臨む



湯殿山の大鳥居